

在学留学報告書 (1年留学)

留学の前半終了時：シート番号1, 2, 4, 7のみ記入して提出してください。

留学の後半終了時：シート番号0, 3, 5, 6, 8を記入して提出してください。

●基本情報

留学開始年度	2022	留学種別	交換
留学先国	アメリカ合衆国	留学先大学名	プレスビテリアン・カレッジ
本学での所属学部(研究科)・学科・専攻			
外国語学部	英語学科	イングリッシュキャリア専攻	
出発時の年次	学部3年次		
留学期間(実際の渡航期間)	2022	年	8月～2023年5月

●認定留学の方への質問

どのように留学先を選びましたか？
学校の協定校一覧から英語圏で学びたいクラスが自由に履修できる大学を選んだ。
留学先決定後、渡航までの手続きの為に留学斡旋業者を利用しましたか？
<input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用した (会社名： _____ 仲介手数料 _____ 円) <input checked="" type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用しなかった (以下の質問には回答不要)
どのように業者を選定しましたか？

●渡航までの準備

1. 入学申請

授業料は支払いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)	
授業料総額：	円
授業料総額のうち渡航前に支払った金額合計：	0円
支払い方法：	

2. ビザ申請

ビザ申請先	
<input checked="" type="checkbox"/> 在日大使館/領事館等 <input type="checkbox"/> その他 (_____) <input type="checkbox"/> 現地に到着してから申請 (申請の場所： _____)	
必要書類	
パスポート、写真、DS2019のコピー、手数料の領収書、入学証明書、SEVISコピー	
取得にかかった期間 (申請してから要した期間)	・取得費用
2週間	380ドル
具体的な申し込み手順 (例：必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→ビザ発行後受け取りに行く。)	
必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→入学許可書の原本郵送→ビザが自宅に郵送される	
ビザ申請の際の面接	
<input checked="" type="checkbox"/> 面接有 (質問の内容 / 言語等： _____ 渡航の目的、滞在期間/英語 _____) <input type="checkbox"/> 面接無	
ビザ申請の際の注意点やアドバイス	
PC側から入学証明書はコピーで申請するよう言われたが、ビザ申請の窓口で原本の提出を求められたため、米国から郵送してもらった。同じように留学する他の生徒はコピーでVISAの取得が出来たが念のため、できる限り書類はすべて原本で用意するべき。	

現地でビザの延長申請を行いましたか？	
<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった (以下1~5には回答不要)	
1.申請先	
2.申請時期	
3.必要書類	
4.具体的な手続き	
5.注意点等	
3. 住居の確保	
どのように住居を見つけましたか？	
PCの事務所が渡航の直前に留学生在どの寮に滞在するか振り分ける。	
住居の申し込み手順	
出発前の7月頃の寮に滞在したいか希望を出す、それが反映されているとは思わない。PCの事務所が渡航の直前に留学生在どの寮に滞在するか振り分け、その寮に滞在する。とくに申請するものはない。	
渡航前に支払った費用とその内訳	
費用： 0 円	内訳：
住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前： SMYTH)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
ベット、クローゼット、机が備え付けてある。一部屋が壁で仕切られている為、個人の空間が確保できる。バスルームは共用で、同じフロアの10人程度と3つのバスルームを使用する	
食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input checked="" type="checkbox"/> 朝 <input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input checked="" type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食
大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> トラム <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計： 1 分	
住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	
なし	

●滞在先の変更について

留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要)	
1.どのように住居を見つけましたか？	
2.住居の申し込み手順	
3. 費用の合計とその内訳	
費用：	円
内訳：	
4.住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
5.部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
6.ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()

7.設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
8.食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食
9.大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> トラム <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計： 分	
10.住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	

4. 保険への加入

日本で加入した海外傷害保険について	
<input checked="" type="checkbox"/> 大学からの紹介で加入した <input type="checkbox"/> 自分で保険会社を探して加入した <input type="checkbox"/> その他 ()	
保険の費用：	88,680 円/ 9 ヶ月分
留学先での保険について	
<input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があった <input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険はなかった (以下の質問には回答不要)	
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があったが、日本で加入した海外傷害保険により免除申請をし認められた	
費用：	円
具体的な加入手順や支払い方法等：	

5. 航空券手配

利用航空会社	JAL
費用	(<input type="checkbox"/> 片道 / <input checked="" type="checkbox"/> 往復) 345940 円
渡航経路	成田ーダラスーグリーンビル、グリーンビルーダラスー羽田
航空券手配方法 ※利用した旅行サイトや旅行会社、比較サイト等があれば記載してください。	
公式サイト	

6. その他の事前準備

その他、済ませておくべき準備があればお書きください。(現金の両替、携帯電話解約、荷物発送等)	
現金両替、携帯電話解約 (電話番号保存)	

●現地到着後～授業開始までの日程 (入学手続き・オリエンテーション・プレイメントテスト等)

項目	内容
到着日時	8 月 17 日 15 時
到着空港名	Greenville
キャンパスや滞在先への移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> ホストファミリーの出迎え <input type="checkbox"/> 知人等の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> その他 ()
公共交通機関やタクシーで移動する際の行き方	Uber
移動にかかった費用	0
※以下、授業開始までの日程	
8月18日	買い物
8月19日	オリエンテーション、履修相談
8月20日	サッカー観戦
8月22日	買い物、履修
8月23日	入学式、始業式
8月24日	授業開始

●現地到着後の手続き

1. 滞在許可書等の申請

現地で滞在許可書や住民登録等の申請は必要ありますか？	
<input type="checkbox"/> 滞在許可書の申請が必要 <input type="checkbox"/> 住民登録の申請が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 特に必要な手続きは無い (以下の項目には回答不要) <input type="checkbox"/> その他 ()	
必要書類：	
申請時期：	
申請方法：	
費用：	
取得に要した日数：	
注意点等：	
銀行口座の開設	
<input type="checkbox"/> 現地で銀行口座を開設した <input checked="" type="checkbox"/> 銀行口座は開設していない (以下の項目には回答不要)	
銀行名：	
必要書類：	
開設時期：	
開設方法：	
費用：	
開設に要した日数：	
注意点等：	
携帯電話の購入	
<input type="checkbox"/> 現地で携帯電話を購入 <input type="checkbox"/> 現地でSIMカードを購入 <input checked="" type="checkbox"/> 日本でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 特に何も購入していない (以下の項目には回答不要)	
必要書類：	特になし
購入時期：	2022年8月初週
購入方法：	オンライン
費用：	360ドル (12ヶ月プラン)
注意点等：	
その他、現地で行った手続きがあれば記載してください。	

●留学総費用概算

	金額		備考
授業料	0	円	
宿舍費	1,790,000	円	
食費	0	円	
教材費等	15,000	円	
保険費(日本)	88,680	円	
保険費(現地)	0	円	加入免除
医療費	0	円	
渡航費	258,000	円	
ビザ申請関連費	130,000	円	
予防接種費	80,000	円	
雑費	300,000	円	
その他	0	円	
その他	0	円	
その他	0	円	
合計	2,661,680	円	

●現地での決済方法について

現地での主な決済方法を教えてください。		
<input type="checkbox"/> 現金	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード/デビットカード	<input type="checkbox"/> その他()
現地での現金調達はどのように行いましたか？(例：国際キャッシュカードを作成し、現地のATMで引き出した。)		
国際キャッシュカードを作成し、現地のATMで引き出した。		

●健康状態について

現地で病院にかかったことはありますか？	
<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)
治療の内容、治療費、海外旅行傷害保険の利用について、病院利用についてのアドバイス 等	

●現地の治安について

盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことがありますか？	
<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)
詳細：	
対応について：	

●現地では調達できない、日本から持っていくべきものがあれば教えてください。

自分の体に合った薬類。

●留学先での履修科目について ※全留学期間分を記入してください。

留学先で取得した単位数合計	27	credit
		ECTS
本学で認定された単位数合計	18	単位

●履修登録の方法 (留学前半分)

履修登録の時期
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録 <input type="checkbox"/> その他 ()
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後 <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input checked="" type="checkbox"/> 国際センター等の仲介 <input type="checkbox"/> その他 ()
出発前に授業を登録した方は、現地に変更・追加・削除できましたか？
<input type="checkbox"/> 変更できた <input type="checkbox"/> 追加できた <input type="checkbox"/> 削除できた <input type="checkbox"/> 変更できた (以下の質問には回答不要)
履修登録の際の注意点等があればお書きください。
前期は生活や授業に慣れるようにするため、余裕を持った授業の時間割にすることをおすすめします。

※以下は留学先で履修した科目 (留学前半分) ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	Religion and Human Experience (RELG 1195)
	担当教員名	Jim Thompson
	時間数 (1週間あたり)	150分
	授業内容	宗教、多様性、影響力についての入門。様々な文化や時代における宗教を探求し、神話、象徴、実践などの共通テーマ、世界の起源や人間の人生の意味などの共通疑問、また、心理学、社会学、歴史、文学や神学などの宗教研究への共通アプローチを紹介される。学生からのディスカッションクエストをもちに、クラス内での教授との対話で授業が進められる。
	試験・課題等	毎授業前に訳4つの資料や映像を予習し、それぞれの予習資料につき最低2つ以上のディスカッションクエストを提出。中間、期末テストの期間に、授業の要点をおさえた振り返りをするビデオか、エッセイを提出。学期末には、約3000字のエッセイを提出。
	感想・自己評価等	この授業では、教授やクラスメイトとの対話がメインであるので、与えられた資料から自分が何をを受け取って、それについてどう考えるのか、またどういった疑問が浮かんだのかを共有し、解説してもらうことに面白さを感じた。少なくとも毎回の授業で1回はディスカッションクエストをクラスに投げかける事ができたので、満足している。

2	コース名/科目名	Eat, Pray, Love (RELG 11162)
	担当教員名	Kirk J. Nolan
	時間数 (1週間あたり)	150分
	授業内容	キリスト教の信仰は、食事、祈り、愛のあり方をどのように形作っているのか、キリスト教とヒンズー教の宗教的実践を比較し理解する。誘惑と犠牲、祈りと識別、愛と欲望についての異なる概念を検証する。自分の信仰の主張を認めると同時に、他の人の信仰の主張を理解しようとする。
	試験・課題等	小テストと教授からのディスカッションクエストに回答したり、自分の意見を記述して提出する課題が授業ごとに交互に行われる。ロングペーパーの提出が三回ある。(最終ペーパーの提出はビデオでも可能)
	感想・自己評価等	予習で読むべき書籍や動画がとて多く、予習や課題にとて時間がかかった。新しい価値観や、どのように宗教が人々の生活に身につけているのかを知ることができ、良かった。他の宗教からくる考え方を知る事で私たちとはどのような点で異なるのか、逆に相似点はなにか自分なりに考えるきっかけになった。

3	コース名/科目名	Advanced Listening and Speaking (IENG 11568)
	担当教員名	Emily Taylor
	時間数 (1週間あたり)	150分
	授業内容	テキストの内容に沿って、教授やクラスメイトとディスカッションをしたり、テキストの問題を解いたりして授業が進められる。主にスピーキング、リスニング力向上の為の授業。
	試験・課題等	課題は指定されたテキストの単語を調べ手、ディスカッションクエスチョンについて自分の考えをまとめる。ユニットごとにテストとプレゼンテーションが実施される。最終試験としてプレゼンとテストが実施される。
	感想・自己評価等	この授業は留学生向けの授業で、プレゼンの方法や授業で使った新しい単語や表現をプレゼンに使用したり、テキストの内容についての時事問題や自分の意見についてディスカッションする為、英語での対話やプレゼンテーションに慣れることができた。

4	コース名/科目名	Advanced English (IENG11569)
	担当教員名	Emily Taylor
	時間数 (1週間あたり)	150分
	授業内容	長文読解や文法の授業。テキストに基づいて進められる。課題で行った問いについてクラスメイトとディスカッションをしながら、長文読解に慣れる。
	試験・課題等	課題は次の授業で扱う長文の読解とその内容についてテキストの問題を解く。ユニットごとにエッセイ提出とテストが行われる。最終試験として、エッセイ提出がある。
	感想・自己評価等	この授業は主に留学生向けで、長文読解に慣れる事ができた。また、授業内でテキストの長文の内容についてのディスカッションもするので、自分の意見をクラスに共有することに慣れる事ができた。

5	コース名/科目名	
	担当教員名	
	時間数 (1週間あたり)	
	授業内容	
	試験・課題等	
	感想・自己評価等	

●履修登録の方法 (留学後半分)

履修登録の時期	
<input type="checkbox"/> 出発前	<input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録 <input type="checkbox"/> その他 ()
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後	<input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input checked="" type="checkbox"/> 国際センター等の仲介 <input type="checkbox"/> その他 ()
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？	
<input type="checkbox"/> 変更できた <input type="checkbox"/> 追加できた <input type="checkbox"/> 削除できた <input type="checkbox"/> 変更できた (以下の質問には回答不要)	
履修登録の際の注意点等があればお書きください。	
授業のレベルによっては受講出来ない科目もあるため、希望の授業を受講したいという理由でpresbyterian collegeを選ぶ方は事前に確認が必要。	

※以下は留学先で履修した科目 (留学後半分) ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	Intro to Special Education
	担当教員名	Dr. Tammy Graham
	時間数 (1週間あたり)	2時間5分
	授業内容	このクラスではspecial education におけるの研究と実践の概要を紹介する。障がいのカテゴリーや法令、障がいを持つ子供達の親や家族と協力する方法、導入的な戦略や介入などを含むspecial educationに関する内容を扱う。
	試験・課題等	IRIS Modulesというオンライン資料を用いて復習や実例を学習し、それに関してのテストを数回受ける。テストは中間、期末で二回ある。また、障がいを持つ生徒に対しての症状やサポート方法を自分で作成したり、グループでケーススタディーズをし、実例に対してどのような特徴があるのか、どのようにサポート出来るのかをまとめて発表する。
	感想・自己評価等	この授業では単にspecial educationに関する法律や条例、歴史や概要を学ぶだけでなく、実例やそれに対するの対応方法を学ぶ。またそれに対して新しいサポート方法をグループや個人で提案したりなど、導入クラスだったのにも関わらず、主体的に学びやすいクラスだった。専門用語や法律など、単語を覚えるのに苦労した。日本の教育や特別教育の認識の違いを学ぶ事が出来て良かった。自分の将来に影響する授業だった。

2	コース名/科目名	Building Community
	担当教員名	Dr. Julie Meadows
	時間数 (1週間あたり)	2時間5分
	授業内容	このクラスは社会的関係への人間の必要性と、人と会うことが出来なかった期間の個人と社会の結果を学ぶ。また、社会的な交わりを作ったり維持するのにより難しくさせる要因や、その結果孤独の人の割合が増加することについて学ぶ。この理解をコミュニティを作る為の個人プロジェクトに応用させる。特に需要を知り解決案を提案する際の倫理的な問題に注意を払う。
	試験・課題等	課題で出された書籍やビデオを用いて、予習として自分の考えを提出する。個人でコミュニティを作るプロジェクトを実行する。クラスでプロジェクト案やイベント後にはプロジェクトの成果を発表する。Honors dayではポスターセッションをして教授や学生にプロジェクト内容を発表する。
	感想・自己評価等	このクラスは学生6人の少人数制なのでディスカッションを毎クラスし、プロジェクト内容を共有する。プロジェクトを進める上で、その環境の問題点を見つけ解決案を出した。人脈がほとんどない場所で一からイベントの用意をしたり、たくさんの人に自分のプロジェクト内容を説明したり、現代社会が抱える人との関わりについての問題点をディスカッションするのは、自分にとって大きなチャレンジだった。このクラスを受講してとても満足している。

3	コース名/科目名	Introductory Sociology
	担当教員名	Dr. Carla Alphonso
	時間数 (1週間あたり)	2時間5分
	授業内容	このクラスでは社会学の規律やどのように社会学者は社会と世界をみているのかについての概要を学習する。このコースでは構造や団体、社会的な交わりによる動力学について強調される。具大的な内容は文化、逸脱、不平等、人種や民族、性、年齢、家族、教育、宗教、政治、経済、社会的変動について取り上げる。
	試験・課題等	四回の試験と長文レポートが学期末に1つ。授業内で取り扱う内容に自分の意見をノートに書いて提案する課題が1週間に1回ある。
	感想・自己評価等	日本では物事について人種や民族の違いによる視点で見た事がなかったけれど、アメリカでは様々な人種の人々が住んでいるため、そのような事を考慮した視点で物事を見ることが出来、人種によって大きく研究結果が変わる事が分かり興味深かった。

4	コース名/科目名	Marriage & the Family
	担当教員名	Dr. Carla Alphonso
	時間数 (1週間あたり)	2時間5分
	授業内容	このクラスでは社会学の観点から家族を学ぶ。その中で同居、離婚、社会福祉、1人親、共働き家庭、そして不平等に関する検証を含むアメリカの家庭の現在のパターンや流行を学習する。また政府や経済、宗教などの社会的団体がどのように影響し、家族と関わっているのかについても学習する。そして、社会政治的思考の枠組みを利用し、家族を考える。
	試験・課題等	テストが三回実施される。5回のレポート提出とそれに関する長文レポートが学期末に課題として出される。
	感想・自己評価等	この授業ではアメリカ家庭に関する様々な状況やパターン、また何故そのパターンが形成されたのか様々な背景や理由を紹介する。そのため、そうなった理由まで教わる事が出来たため、学んだ内容にとっても興味や関心を持って学ぶことができた。

5	コース名/科目名	Public Speaking
	担当教員名	Michael Genevie
	時間数 (1週間あたり)	2時間5分
	授業内容	このコースでは口頭でのプレゼンテーションの様々なスタイルを総合的に学ぶ。また、様々なスピーチの場面で自身と落ち着きを身につけられることが出来るようにされている。このコースは人前で話しをする際のプロセスを意識しフォーマルなスピーチ、グループディスカッション、情報交換の機会を提供することによって達成される。
	試験・課題等	毎トピックにつき一回、いろいろな方法でスピーチをクラス内で行う。期末のテストが1度行われる。
	感想・自己評価等	この授業ではスピーチの重要なポイントや、様々なスピーチ方法を教わり、毎トピックごとに1度クラスでスピーチを行う。効果的なスピーチをするには何が必要なのか、学んだ事を実践しフィードバックをもらえるのは自分が他のクラスやイベントでスピーチをする際にも役立ったと感じる。

6	コース名/科目名	
	担当教員名	
	時間数 (1週間あたり)	
	授業内容	
	試験・課題等	
	感想・自己評価等	

● 1週間のスケジュール (授業・課外活動・勉強・プライベート等 毎日の生活について記入してください。)

	(例)	月	火	水	木	金	土	日
6:00								
7:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
8:00							友人と過ごす	
9:00	授業		授業	勉強	授業	授業	友人と過ごす	
10:00	授業		授業	勉強			友人と過ごす	ホストファミリー
11:00	授業			勉強			友人と過ごす	と過ごす
12:00		授業					友人と過ごす	
13:00	授業	授業	授業	授業	勉強	勉強	友人と過ごす	
14:00	授業	授業	授業	授業		勉強	友人と過ごす	
15:00	授業	授業		授業		勉強	友人と過ごす	
16:00	買い物			買い物		勉強		
17:00						勉強		
18:00	友人と過ごす							
19:00								
20:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		
21:00	勉強							
22:00								
23:00	就寝							

●本学へ入学～留学終了までのタイムチャート

いつ頃留学を意識し始めたか、語学試験を受験した時期、それに向けての勉強、留学にかかる選考、説明会やイベントへの参加等、留学にかかわることを記入してください。

時期 (例: 1年次春学期、〇年〇月など)	内容	
1年次春学期	留学祭りに参加して留学経験者の話を聞き、留学に興味を持つようになった。	記入例
1年次春学期	留学に関する説明会にできる限り参加し、情報収集。留学先を決めるために先輩たちに話を聞く。	
1年次秋学期	初めてIELTSを受験	
2年次春学期	交換派遣留学説明会に参加、交換留学へ申請、学内選考の結果〇〇大学への留学が決定。	
2年次秋学期	入学前から留学に行きたかったため、留学説明会に参加	
2年次秋学期 2月	応募条件を満たすため、IELTSを受験。	
3年次春学期 4月中旬	留学の申し込み	
3年次春学期 4月下旬	交換留学面接、合否発表	
3年次春学期 5月初旬	留学ガイダンス、留学オリエンテーション、航空券予約	
3年次春学期 5月中旬	保健管理センターとワクチン接種について相談	
3年次春学期 5月下旬	ワクチン接種	
3年次春学期 6月	留学安全サポート講習、健康診断、危機管理説明会	
3年次春学期 7月	海外対応のクレジットカード(予備)を準備、海外保険登録、	
3年次春学期 8月	渡航、現地でのガイダンス、履修登録、授業スタート	
3年次秋学期 11月	寮費やミールプランの入金	
3年次秋学期 12月	授業の最終テスト、冬休み	
3年次秋学期 1月	履修登録、授業開始	
4年次春学期 5月	授業の最終テスト、単位認定の書類作成、帰国	

●留学前半の感想について

留学先国・留学先大学・プログラム・授業・滞在先・私生活・授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）等について、自由に書いてください。

留学先国の特徴や雰囲気等
フレンドリーで、多様な文化、宗教、様々な人種の人達が生活している。
留学先大学の特徴や雰囲気等
フレンドリーで、歩いている時に人とすれ違うとほとんどが挨拶をしたり、微笑んでアイコンタクトをする。お互いを尊重しあっている。たくさんクラブやサークル、コミュニティがあり、特に運動部とキリスト教団体が活発。毎週パーティーが開かれる。
授業について
前半は英語学習のクラスを二つ履修する事が必須で、加えて宗教の授業を二つ履修し、合計四つ履修した。授業の進め方やmoodleのような授業についてのサイトの使い方、テストに向けての準備など慣れるまでに時間がかかったが、積極的にクラス内で意見を言うようにした。
課外活動（ボランティア、サークル等）について
Rise Against HungerというNPO団体のボランティアに参加して、地域の人やPCの生徒と共に貧困に苦しむ人々に向けて、食事を梱包した。
滞在先（寮や一人暮らし等）の環境について
前学期に私が滞在した寮には一部屋につき二人の生徒が滞在する。部屋にはベット、クローゼット、机が備え付けてあり、一部屋が壁で仕切られている為、個人の空間が確保できる。バスルームは共用で、同じフロアの10人程度と3つのバスルームを使用する。
現地での生活
キャンパスが田舎にあるため、どこかに遊びに行く場合には車を持っている現地生の知り合いに運転してもらう必要がある。Office International Programや大学と提携している教会が、定期的に都心部へ旅行に連れて行ってくれる。
留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイス
友達との会話や授業内で日本の文化、価値観、習慣、宗教や日本の現状や問題などについて話したり、ディスカッションする機会がたくさんあるので、日本について、また自分の地元について説明できる位知っておくとアメリカでの生活に役立つと思います。
留学前半の反省・留学後半に向けての意気込み・目標
生活や授業に慣れるまで、自分が思っている以上に時間がかかった。後半はもっといろんな人と関われるように、新しいコミュニティに入ったり、より多くのイベントに参加したいと思う。

留学体験談の執筆依頼について

以下の留学体験談は、記入必須ではありませんが、留学を目指す学生にとって大変貴重な資料となります。できる限り、記載いただきますようお願いいたします。

留学のきっかけ
高校1年生の時にオーストラリアにホームステイし、今まで自分が日本で経験してきた習慣や文化とは違う、新しいものを経験し学べた事がとても面白くてもっと他の世界を見てみたいと思ったのがきっかけ。
留学先国、大学を選択した理由
自分が学びたい分野のクラスがあった。リベラルアーツの為、学部学科に限らず自分の興味のある様々なクラスを履修できるところに魅力を感じた。また、クラブやコミュニティ、地域の方との活動が活発なため、幅広く人と関わる事がしやすい環境だと考えた。
留学先大学での授業・学習内容・試験・課題・について
留学先ではおもに自分の興味のある社会学、宗教学、教育学の授業を履修した。授業は講義形式のものあれば、ディスカッション方式やプロジェクトを考えて実行し、発表する形式のものもあった。双方向型の授業は日本であまり経験したことがなかった為、慣れるまでに時間がかかったが、自分の考えを共有してそれについて他の学生や教授がどう考えるかをリアルタイムで知る事が出来るのはとても面白かった。課題と予習は授業ごとに毎回あって、量も多いと感じた。
滞在先について
全寮制のため、キャンパス内に寮があった。二人で一つの部屋を共有し、部屋の半分は壁で仕切られていたため、ルームシェアだが個人の空間は確保しやすかった。長期休暇の間は寮が開まるため、大学と連携している地元の教会の二家族がホストファミリーとなり、滞在させてもらった。
留学先国や大学の雰囲気について
Presbyterian Collegeはサウスカロライナ州の田舎にある小さな大学。バスや電車も大学の近くから出ていなかったが、大学の近くのスーパーや薬局には歩いていくことが出来た。キャンパス内は自然豊かで屋内外で様々なイベントが開催されていた。部活やコミュニティの活動が活発で生徒は何かしらの団体に所属している。大学が地元の教会と連携し、様々なアクティビティやイベントを計画してくれたため地域の方ともたくさん関わる事が出来た。
友人関係について
小さい大学で人と関わりやすく、イベントも多いため友達を作る機会も多いと感じる。留学生の為のオフィスが旅行やイベントを計画してくれるため、他の国から来た留学生とは自然に仲良くなれた。ほとんどの寮が近くに位置し毎日一緒に過ごしているため、自分の将来や考えかたなど真剣な話が出来、人生の中で大切な友達に何人も出会えた。
苦労したことや大変だったこと
授業のためのプロジェクトを進める事が大変だった。そのプロジェクトはコミュニティを形成するプロジェクトだった為、あるイベントを計画し、施設の許可や費用の調整、イベント協力者との打ち合わせの準備、広告などしなければならないことが沢山あった。慣れないことばかりで苦労したが、沢山の人の協力してもらって成功し、これを通して沢山の事を学んだ。また、教育学の授業は特別教育に関する事だったので用語を覚えるのに苦労した。
授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）について
貧困の中にいる人々のためにお米やプレミールなどの食事をパッキングした。また、地域のミュージックフェスティバル、フリーマーケットの設営と広告を手伝った。 サークル等については、ホストファミリーから誘われてCampus Outeachのコミュニティに入り、週1〜2で活動した。
留学経験から得たこと
そのとき自分には無理かもしれないと思って、やりたいことであれば何でも挑戦する事が大切だとこの留学を通して学びました。ディスカッションのクラスや教育学のクラスなど始めの頃はクラスの中で発言するのが怖いと思った事もあったが、勇気を出して発言する事で自分の考えを伝える楽しさを知る事が出来た。そのことによってより授業の内容を理解する事が出来た。また多くの人と深く関わる事で、新しい知識や自分にはない考え方を知る事が出来たため、沢山の人と交流する事の大切さも学んだ。

これから留学する方へのメッセージとアドバイス

留学中は沢山大変な事が起こると思います。でもそれを大変だと思っばかりではなく、それを通して何を学ぶ事ができるのかを考えて行動すると、必ず自分の為になると思います。また、留学先で友達が出来たなら、思い切って深い話をしてみるのも良いと思います。自分の価値観や考え、将来、不安に思っている事などを話し合う事で自分とは異なる見方で物事を見るきっかけになったし、関係性もより深くなりました。留学中に沢山の学びと良い出会いがあるよう、応援しています。

今後の進路や目標等

Presbyterian Collegeで履修したクラスがきっかけで障がいをもつ子供達に対する教育、Special Educationに興味をもちました。この授業で、障がいを持っていたとしても普通のクラスで学べられるようにするために、教員側はどのように生徒やその家族をサポートするべきかを学びました。しかし、今の日本は通常クラスとそれ以外を二分しSpecial Educationのような教育、制度が整っていません。卒業後はSpecial Educationを深く学び、将来は障がいを持っていたり、学校に来ていない生徒をサポートする存在になりたいと思っています。

- ・留学の様子がわかる写真 (2~3枚) があれば、以下に添付してください！

